

開催日時 開催場所	日時：2015年5月20日（水）16:04～16:23 場所：マツダ病院 外来棟5階 会議室1
出席委員名	五明 幸彦、西原 昌幸、大成 洋二郎、田中 正宏、川本 ひとみ、矢野 礁風、吉田 正樹、土田 耕司、谷口 晶子、矢吹 尚子、永谷 薫、服部 聖
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p><b>【審議事項】</b></p> <p><b>審議事項①</b> 興和株式会社の依頼による TG 高値を示す脂質異常症患者を対象とした K-877 の 52 週長期投与試験</p> <p>新たな安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>治験に関する変更（治験薬概要書の変更）について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>継続審査（過去1年間の治験実施状況）について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p><b>審議事項②</b> 協和発酵キリン株式会社の依頼による喘息患者を対象とした KHK4563 の第Ⅲ相臨床試験</p> <p>新たな安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p><b>審議事項③</b> 関節リウマチ患者を対象とした PF-06438179 とインフリキシマブの有効性と安全性を比較する第3相臨床試験</p> <p>治験に関する変更（同意説明文書の改訂）について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p><b>審議事項④</b> 第一三共株式会社の依頼による DS-5565 第Ⅲ相国際共同試験</p> <p>当該試験薬で発生した重篤な副作用についてこれまでに得られている安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p><b>審議事項⑤</b> アストラゼネカ株式会社の依頼による急性虚血性脳卒中又は一過性脳虚血発作患者を対象とした AZD6140（チカグレロル）の国際共同第Ⅲ相試験</p> <p>当該試験薬で発生した重篤な副作用についてこれまでに得られている安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>治験に関する変更（治験実施計画書の改訂）について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p><b>報告事項①</b> アストラゼネカ株式会社の依頼による急性虚血性脳卒中又は一過性脳虚血発作患者を対象とした AZD6140（チカグレロル）の国際共同第Ⅲ相試験</p> <p>前回 IRB での質問事項について、依頼者回答を報告した。</p>

	<p>報告事項② 第一三共株式会社の依頼による虚血性脳血管障害患者を対象としたCS-747S (プラスグレレル塩酸塩)の第Ⅲ相試験</p> <p>迅速審査について報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・契約症例数の追加 (2015年4月23日(木) 実施:承認)</li></ul>
特記事項	なし